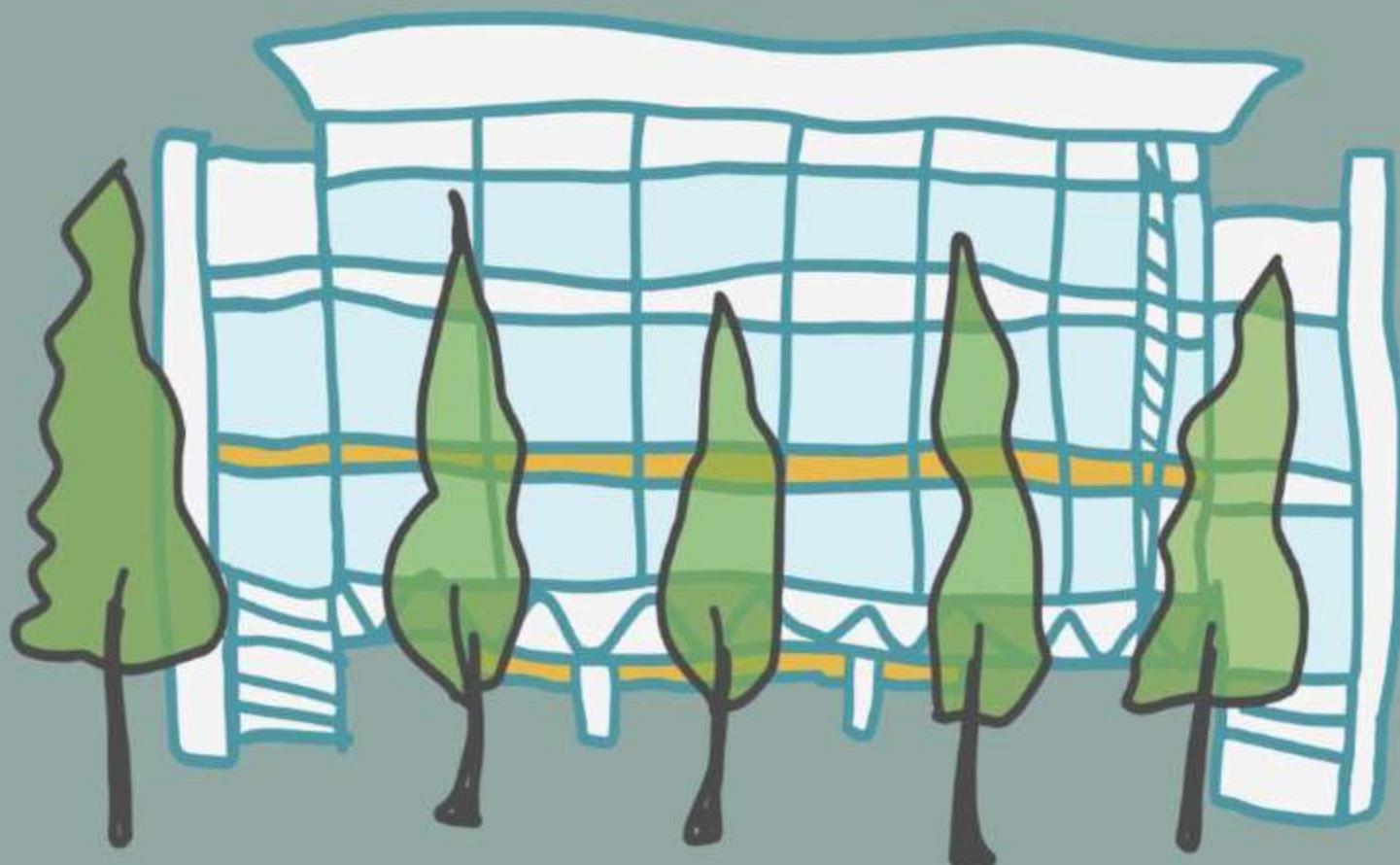


めぐろ区民キャンパス 避難所ガイドブック

December 2020 issue

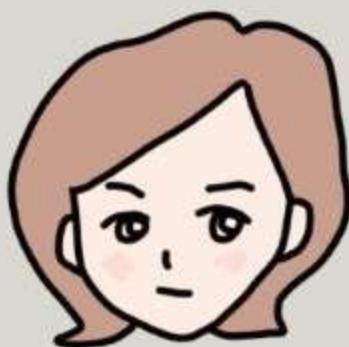




パパ、大きな地震が来たら
ぼくたち、どこに逃げればいいの？



ウチは、近くの
めぐろ区民キャンパスかな



よく考えたら、近いのに
一度もめぐろキャンパスって
行ったことないわね



そういえばそうだね
いちどみんなで行ってみようか



あ！ そうだ！ そういえばさ
11月28日にキャンパスで避難所訓練
をやつたらしいよ！



おお、そうか！
じゃあいい機会だからみんなで
めぐろキャンパスに行くことにしよう

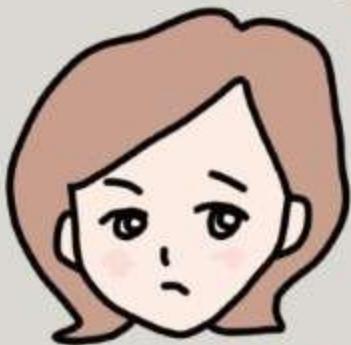




あの体育館って全部で何人入れるのかなあ？



うーん、あそこにみんなが避難してきたら入れなくなってしまうかもしれないね…



それに今は新型コロナのおかげで密になってはいけないでしょう？



そうなるとますます避難場所がいっぱいになってしまうなあ。**在宅避難**ということも考えておいたほうがいいかもしれないな



なにそれ？



家の被害が小さい人は水と食べ物はめぐろキャンパスで確保するんだけどトイレや宿泊は家ですることかな



それいいね！そしたらうちのジョンとも一緒にいられるしね





KAKINOKI
ZAKA
AREA
MAP
by Lisa

by Lisa



» 知恵袋 «

地震の震度とマグニチュード

柿の木坂の地盤

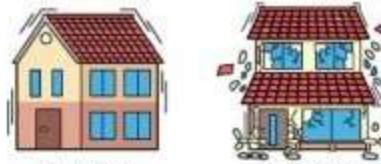
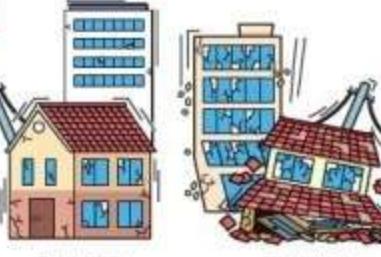
目黒区（東京都）で発生した震度4以上の地震

想定される地震と目黒区における被害

柿の木坂地域危険度（総合危険度）



震度・・・揺れの強さと状況（出典：気象庁HP）

0  [震度 0] 人は揺れを感じない。	1  [震度 1] 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	2  [震度 2] 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。	3  [震度 3] 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
4  [震度 4] <ul style="list-style-type: none"> ほとんどの人が驚く。 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 座りの悪い置物が、倒れることがある。 	6弱   [震度 6 弱] <ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる。 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 		
5弱  [震度 5 弱] <ul style="list-style-type: none"> 大半の人気が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 棚にある食器類や本が落ちることがある。 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	6強   [震度 6 強] <ul style="list-style-type: none"> はわないと動くことができない、飛ばされることもある。 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 		
5強  [震度 5 強] <ul style="list-style-type: none"> 物につかまらないと歩くことが難しい。 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。 固定していない家具が倒れることがある。 補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	7   [震度 7] <ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。 		

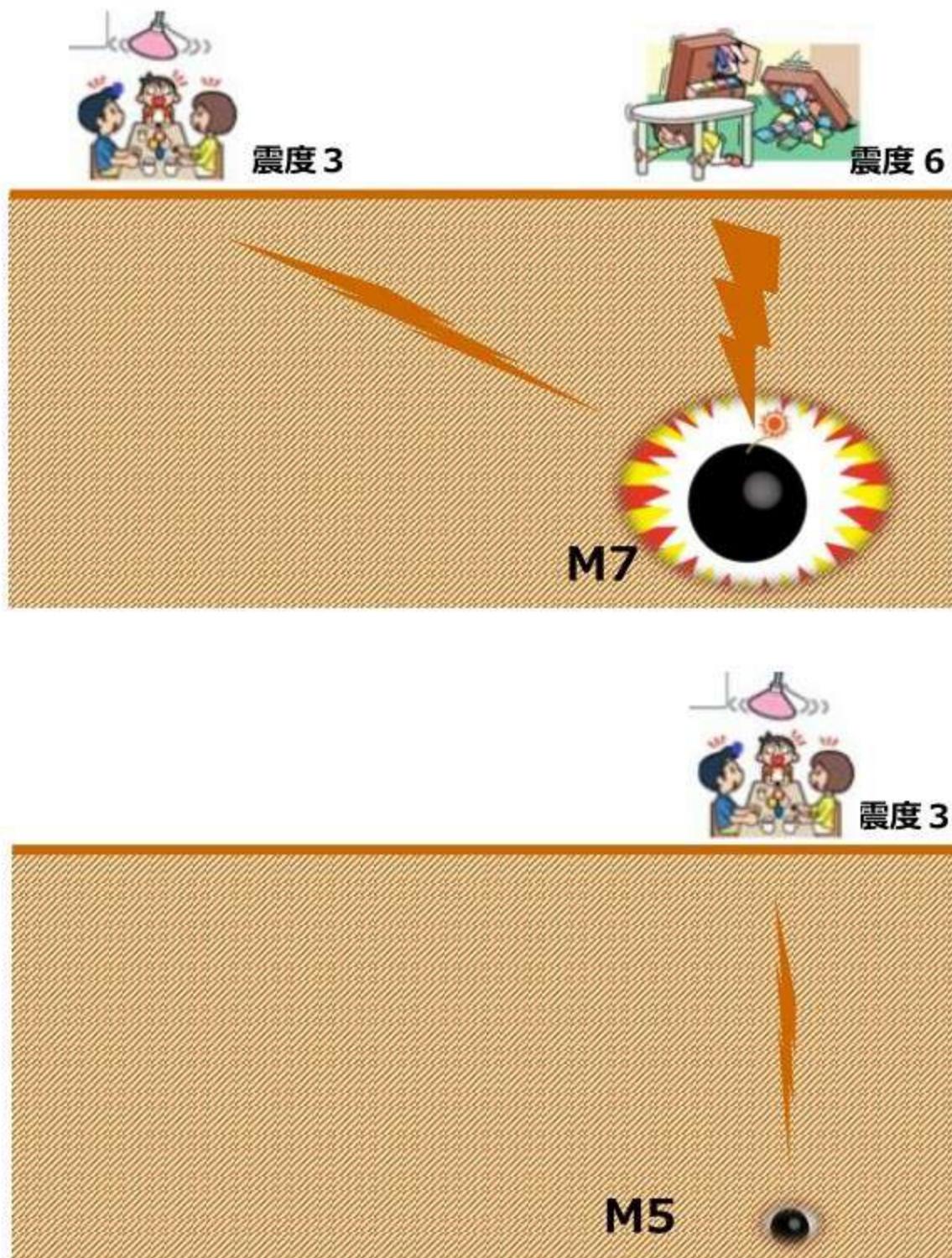
東日本大震災の時の目黒区の震度：5弱

マグニチュード・・・地震の規模（エネルギー）

$\text{Log } E = 4.8 + 1.5M$ (E はエルグ、エネルギーの単位)

Mはマグニチュード)

マグニチュードが 1.0 上がるとエネルギーは 31.62 倍



柿の木坂の地盤

出典：防災科学技術研究所



1919年以降の目黒区に於いて観測された震度4以上の地震 出典：気象庁、震度データベース

年/月/日	震央	M
2005/7/23	千葉県北西部	6.0
2011/3/11	三陸沖 (東日本大震災)	9.0
2011/3/11	茨城県沖	7.6
2015/9/12	東京湾	5.2

注：震度5弱以上が観測されたものは三陸沖の東日本大震災のみ

1919年以前に東京都区内での震度が最大6以上と推定される地震

出典：wikipedia

年/月/日		震央	M	死者
1293/05/27	永仁鎌倉地震	相模湾	7以上	2.3万余
1703/12/31	元禄関東地震	野島崎沖	8.1~8.4	1万余
1855/11/11	安政江戸地震	東京湾北部	6.9~7.4	1万余
1894/06/20	明治東京地震	東京湾	7	31
1923/09/01	大正関東地震 (関東大震災)	相模湾 他、諸説あり	7.9~8.2	10.5万余

目黒区の被害想定（出典：目黒区地域防災計画、平成31年4月目黒区防災計画会議作成）

（1）前提条件

ア 想定地震

項目	内容			
種類	東京湾北部地震	多摩直下地震 (プレート境界多摩地震)	元禄型関東地震	立川断層帯地震
震源	東京湾北部	東京都多摩地域	神奈川県西部	東京都多摩地域
規模	マグニチュード（以下「M」と表記する。）7.3		M8.2	M7.4
震源深さ	約 20km～35km		約 0km～30km	約 2km～20km

イ 気象条件等

季節・時刻・風速	想定される被害
①冬の朝 5 時 風速 4m／秒 8m／秒	<ul style="list-style-type: none"> ○ 兵庫県南部地震と同じ発生時間 ○ 多くの人々が自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による圧死者が発生する危険性が高い。 ○ オフィスや繁華街の屋内外滞留者や、鉄道・道路利用者は少ない。
②冬の昼 12 時 風速 4m／秒 8m／秒	<ul style="list-style-type: none"> ○ オフィス、繁華街、映画館、テーマパーク等に多数の滞留者が集中しており、店舗等の倒壊、落下物等による被害拡大の危険性が高い。 ○ 住宅内滞留者数は、1 日の中で最も少なく、老朽木造家屋の倒壊による死者数は①と比較して少ない。
③冬の夕 18 時 風速 4m／秒 8m／秒	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火気器具利用が最も多いと考えられる時間帯で、これらを原因とする出火数が最も多くなるケース ○ オフィスや繁華街周辺、ターミナル駅では、帰宅、飲食のため多数の人が滞留 ○ ビル倒壊や落下物等により被災する危険性が高い。 ○ 鉄道、道路もほぼラッシュ時に近い状況で人的被害や交通機能支障による影響拡大の危険性が高い。

（2）想定結果の概要

大規模な地震が起きると、揺れによる建物倒壊や火災延焼などを原因とする人的被害が発生し、多くの死者が発生し、鉄道等の運行停止を原因とする大量の帰宅困難者が発生し大きな混乱が生じます。こうした東京の抱えるリスクを十分に認識する必要があります。

もしも大きな地震が起きたら

一番被害がひどいと予想される

東京湾北部地震（M7.3）が

冬の夕方に発生すると

**死者；300人以上
内、火災による死者；
230人前後**

**出火件数；27
焼失棟数；1万件以上**

**負傷者；3000人以上
内、重傷者；130人弱**

**おおよそ電気は4軒中1軒
水道は10軒中4軒
が使えなくなる**

		都道府県						
		北陸						
震度別面積率		km ²	冬の夕方18時	Bm／秒	4m／秒	8m／秒		
6.5	7	68,330	271,320	14.7	0.0	0.0		
6.0				12.8	87.2	0.0		
5.5				6	2,538	2,510		
5.0				23	40,796	23,689		
4.5								
4.0								
3.5								
3.0								
2.5								
2.0								
1.5								
1.0								
0.5								
0.0								
総棟数	木造(棟)	40,796						
	非木造(棟)	23,689						
原因別建物全 棟数	計(棟)	2,538						
	ゆれ(棟)	2,510						
	被状化(棟)	6						
	急傾斜地崩壊(棟)	23						
ゆれ 建物全 棟数	木造(棟)	4,631						
	非木造(棟)	1,162						
ゆれ 建物全 棟率	木造(%)	11.4						
	非木造(%)	4.9						
原因別建物半 棟数	計(棟)	50						
	ゆれ(棟)	49						
	被状化(棟)	1						
	急傾斜地崩壊(棟)	0						
ゆれ 建物半 棟数	木造(棟)	4,631						
	非木造(棟)	1,162						
ゆれ 建物半 棟率	木造(%)	11.4						
	非木造(%)	4.9						
急傾斜地崩壊危険箇所(箇所)		0						
津波全廻数(棟)								
火災	出火件数(件)	7	7	13	13	27	27	
	焼失棟数(倒壊建物を含む)(棟)	827	869	2,662	2,765	10,875	11,232	
	焼失棟数(倒壊建物を含まない)(棟)	795	835	2,559	2,560	10,454	10,795	
死者	計(人)	172	173	154	157	325	332	
	ゆれ・被状化建物被害(人)	146	146	89	89	96	96	
	急傾斜地崩壊(人)	2	2	2	2	2	2	
	火災(人)	20	21	59	61	223	230	
	津波(人)	—	—	—	—	—	—	
	ブロック堆等(人)	4	4	4	4	4	4	
	屋外落下物(人)	0	0	0	0	0	0	
	屋内収容物(人)(参考値)	8	8	6	6	6	6	
負傷者	計(人)	2,866	2,872	2,423	2,433	3,162	3,195	
	ゆれ・被状化建物被害(人)	2,687	2,687	2,066	2,066	2,041	2,041	
	急傾斜地崩壊(人)	2	2	2	2	2	2	
	火災(人)	40	228	238	983	1,016		
	ブロック堆等(人)	131	131	131	131	131	131	
	屋外落下物(人)	8	8	8	8	8	8	
	屋内収容物(人)(参考値)	162	162	138	138	129	129	
	計(人)	386	388	365	368	567	576	
	ゆれ・被状化	322	322	239	239	240	240	
	急傾斜地崩壊(人)	1	1	1	1	1	1	
	火災(人)	12	13	64	67	274	283	
	ブロック堆等(人)	51	51	51	51	51	51	
	屋外落下物(人)	1	1	1	1	1	1	
	屋内収容物(人)(参考値)	36	38	30	30	28	28	
避難者	発生数(人)	56,328	56,481	63,031	63,417	93,041	94,336	
	避難者発生者	36,613	36,713	40,970	41,221	60,477	61,318	
	救済者	19,715	19,768	22,061	22,198	32,564	33,017	
	帰宅困難者				241,932			
	帰宅困難者数(人)				78,206			
	閉じ込めにつながり得るエレベーター停止台数(台)	122	122	127	128	151	152	
	避難廊者	死者数(人)	69	70	66	67	150	153
	自力脱出困難者	発生数(人)	1,117	1,117	824	824	828	828
ライフライン被	電力(停電率)(%)		11.8	14.2	14.3	26.0	26.4	
	通信(不通率)(%)		1.7	—	—	17.9	18.4	
	ガス(供給停止率)				0.0～100.0	0.0～100.0	0.0～100.0	
	上水道(断水率)(%)			40.1	40.1	40.1	40.1	
	下水道(管路上被		30.3	30.3	30.3	30.3	30.3	
避難施設	被		93	97	98	116	117	
			96	104	104	139	141	

では、

柿の木坂一帯はどのくらい危険？ (総合危険度)

出典：目黒区地域危険度マップ[°]

総合危険度 = 火災危険度 + 建物倒壊危険度 + 災害時活動困難度



総合危険度ランク

危険度が低い	ランク1	ランク2	ランク3	ランク4	ランク5	危険度が高い
←						→

地震から
あなたの家族を守る対策は？



めぐろ区民キャンパス避難所案内図





『愛こそ平和の母なれ』～防災も地域の人々の愛が基礎

本ガイドブックは柿の木坂町会主催
[令和2年度東京都地域の底力発展事業助成]
対象事業にて作成